土曜
ASHUREY CLASS

原文で味わう詩篇

תהלים

No.35 (詩篇118篇 ①) 2025. 10. 04

「詩篇」を学ぶ上で大切な視点

【新改訳2017】ヨハネの福音書5章39～40節

39 あなたがたは、聖書の中に永遠のいのちがあると思って、
聖書を調べています。
その聖書は、わたしについて証ししているものです。
40 それなのに、あなたがたは、いのちを得るために
わたしのもとに来ようとはしません。

※イェシュアは私たちに聖書を正しく解釈することを教えています。それはイェシュアという鍵を入れ込むことで、初めて言わんとすることが見えてくるということです。
詩篇もそのように、預言的、奥義的、重層的に読んでいきたいと思います。
※詩篇は預言書です。詩篇の作者ダビデは、本体であるイェシュアを証ししています。
なぜなら、御子イェシュアはダビデの先取的存在だからです。

「詩篇」を学ぶ上で大切な視点

●詩篇において「人称の同定」はきわめて重要です。
置換神学の誤りは、人称を自分本位に解釈することにあります。

●詩篇は預言書です。とすれば、人称を同定するためには、神のご計画の全貌を知っていなければなりません。ここに詩篇を読むことの難しさがあるのです。

●多くの人が詩篇をたましいで味わおうとしますが、聖書は「霊で読む」ことを求めているのです。

1．テキスト ①

【新改訳2017】詩篇118篇1～29節

1　主に感謝せよ。
　主はまことにいつくしみ深い。その恵みはとこしえまで。
2　さあ イスラエルよ 言え。「主の恵みはとこしえまで。」
3　さあ アロンの家よ 言え。「主の恵みはとこしえまで。」
4　さあ 主を恐れる者たちよ 言え。「主の恵みはとこしえまで。」

5　苦しみのうちから　私は主を呼び求めた。
　主は答えて　私を広やかな地(※)へ導かれた。※「安全な場所」
6　主は私の味方。私は恐れない。人は私に何ができよう。
7　主は私の味方　私を助ける方。私は　私を憎む者をものともしない。
8　主に身を避ける(※)ことは　人に信頼するよりも良い。※「主の中へと入る」
9　主に身を避けることは　君主たちに信頼するよりも良い。

1. テキスト ②

10 すべての国々が私を取り囲んだ。
　　しかし 主の御名によって私は彼らを断ち切る。
11 彼らは私を取り囲んだ。まことに私を取り囲んだ。
　　しかし 主の御名によって　私は彼らを断ち切る。
12 蜂のように　彼らは私を取り囲んだが　茨の火のように消された。
　　主の御名によって　私は彼らを断ち切る。
13 おまえは私を激しく押し倒そうとしたが　主が私を助けられた。
14 主は私の力　またほめ歌。主は私の救いとなられた。

1. テキスト ③

15 喜びと救いの声は正しい者の幕屋の内にある。
　主の右の手は力ある働きをする。
16 主の右の手は高く上げられ　主の右の手は力ある働きをする。
17 私は死ぬことなくかえって生きて　主のみわざを語り告げよう。
18 主は私を厳しく懲らしめられた。しかし私を死に渡されはしなかった。
19 義の門よ　私のために開け。私はそこから入り　主に感謝しよう。
20 これこそ主の門。正しい者たちはここから入る。

21 私はあなたに感謝します。
　あなたが私に答え　私の救いとなられたからです。

1. テキスト ④

22 家を建てる者たちが捨てた石　それが要の石となった。
23 これは主がなさったこと。私たちの目には不思議なことだ。
24 これは主が設けられた日。この日を楽しみ喜ぼう。

25 ああ 主よ どうか救ってください。
　　ああ 主よ どうか栄えさせてください。

26 祝福あれ　主の御名によって来られる方に。
　　私たちは主の家から　あなたがたを祝福する。
27 主こそ神。主は私たちに光を与えられた。
　　枝をもって祭りの行列を組め。祭壇の角のところまで。

1. テキスト ⑤

28 あなたは私の神。私はあなたに感謝します。
あなたは私の神。私はあなたをあがめます。

29 主に感謝せよ。　主はまことにいつくしみ深い。
その恵みはとこしえまで。

2. なぜ詩篇118篇がメシア詩篇なのか

●詩篇118篇は15の「メシア詩篇」を総括するにふさわしい詩篇です。なぜ、詩篇118篇がメシア詩篇と言えるのでしょうか。それは、
新約聖書に多く引用されているからです。

(1)22節の「家を建てる者たちが捨てた石 それが要の石となった」
(マタイ21:42,マルコ12:10～11, ルカ20:17, 使徒4:11, エペソ2:20, Ⅰペテロ2:7)

(2)26節の「祝福あれ　主の御名によって来られる方に」
(マタイ21:9, 23:39, マルコ11:9, ルカ13:35, 19:38, ヨハネ12:13)

●22節は復活のイエシュア、26節は再臨イエシュア(王なるメシア)が預言されています。

3. 人称の同定 ①

【新改訳2017】詩篇118篇1～29節

1　主に感謝せよ。
　　主はまことにいつくしみ深い。その恵みはとこしえまで。
2　さあ イスラエルよ 言え。「主の恵みはとこしえまで。」
3　さあ アロンの家よ 言え。「主の恵みはとこしえまで。」
4　さあ 主を恐れる者たちよ 言え。「主の恵みはとこしえまで。」

5　苦しみのうちから　私は主を呼び求めた。
　　主は答えて　私を広やかな地(※)へ導かれた。※「安全な場所」
6　主は私の味方。私は恐れない。人は私に何ができよう。
7　主は私の味方　私を助ける方。私は　私を憎む者をものともしない。
8　主に身を避けることは　人に信頼するよりも良い。
9　主に身を避けることは　君主たちに信頼するよりも良い。

3. 人称の同定 ②

10 すべての国々が私を取り囲んだ。
　しかし 主の御名によって私は彼らを断ち切る。
11 彼らは私を取り囲んだ。まことに私を取り囲んだ。
　しかし 主の御名によって　私は彼らを断ち切る。
12 蜂のように　彼らは私を取り囲んだが　茨の火のように消された。
　主の御名によって　私は彼らを断ち切る。
13 おまえは私を激しく押し倒そうとしたが　主が私を助けられた。
14 主は私の力　またほめ歌。主は私の救いとなられた。

※①「彼ら」　②「おまえ」

※「主の御名によって」(ベシェーム・アドナイ)・・最高の権威を与えられた名前

※①「取り囲む」(サーヴァヴ：סָבַב)　②「断ち切る」(ムール：מוּל)＝割礼を施す

3. 人称の同定 ③

15 喜びと救いの声は正しい者の幕屋の内にある。
　主の右の手は力ある働きをする。
16 主の右の手は高く上げられ　主の右の手は力ある働きをする。
17 私は死ぬことなくかえって生きて　主のみわざを語り告げよう。
18 主は私を厳しく懲らしめられた。しかし私を死に渡されはしなかった。
19 義の門よ　私のために開け。私はそこから入り　主に感謝しよう。
20 これこそ主の門。正しい者たちはここから入る。

※①「正しい者」＝「私」　②「正しい者たち」＝「私たち」

21 私はあなたに感謝します。
　あなたが私に答え　私の救いとなられたからです。

3. 人称の同定 ④

22 家を建てる者たちが捨てた石(※)
　　それが要の石となった。　　※「石」(エヴェン：אֶבֶן)はイェシュア
23 これは主がなさったこと。私たちの目には不思議なことだ。
24 これは主が設けられた日。この日を楽しみ喜ぼう。

25 ああ 主よ どうか救ってください。
　　ああ 主よ どうか栄えさせてください。

26 祝福あれ　主の御名によって来られる方(※)に。※イェシュアご自身
　　私たちは主の家から　あなたがたを祝福する。
27 主こそ神。主は私たちに光を与えられた。
　　枝をもって祭りの行列を組め。祭壇の角のところまで。

※①「私たち」　②「あなたがた」

3. 人称の同定 ⑤

28 あなたは私の神。私はあなたに感謝します。
あなたは私の神。私はあなたをあがめます。

※①「あなた」　②「私」

29 主に感謝せよ。 主はまことにいつくしみ深い。
その恵みはとこしえまで。

3. 人称の同定 ⑥

(1)４～21節の「私」・・・イスラエルの残りの者
(2)15節の「正しい者」・・イスラエルの残りの者
(3)20節の「正しい者たち」・・教会＆異邦人
(4)23, 26節の「私たち」・・・教会＆イスラエルの残りの者
(5)26節の「あなたがた」・・・異邦人
(6)21, 28節の「あなた」・・・主
(7)12節の「彼ら」・・・・・・ すべての国々
(8)18節の「おまえ」・・・・・反キリスト

4. 定型句 ①

主に感謝せよ。　主はまことにいつくしみ深い。
その恵みはとこしえまで。

ハスドー	レオーラーム	キー	トーヴ	キー	ラドナイ	ホードゥー
חַסְדּוֹ:	לְעוֹלָם	כִּי	כִּי־טוֹב		לַיהוָה	הוֹדוּ
その恵みは	とこしえまで	まことに	まことにいつくしみ深い		主	に	感謝せよ

●詩篇における呼びかけの定型句の一つです。構文としては、「主に感謝せよ」という命令があり、その根拠となる理由が二つ記されています。第一の理由は、主が「トーヴ」、つまり「良い方、いつくしみ深い方」であるということ。第二の理由は、主の「ヘセド」、すなわち「主の恵みは永遠だということ」です。「感謝せよ」「ホードゥー」(הוֹדוּ)の基本形は「ヤーダー」(יָדָה)です。

4. 定型句 ②

●この定型句は「御国における賛美」となると信じます。ぜひ覚えることをお勧めします。「ホードゥー」(הוֹדוּ)は「ヤーダー」(יָדָה)の命令形です。「ヤーダー」(יָדָה)は、(矢を)放つ、射る　(Pi)投げ倒す、投げつける(Hiph)ほめたたえる、感謝する、賛美する、告白する　(Hithpael)は(罪を)告白する、を意味します。ちなみに、同音の「ヤーダ」(יָדַע)は「知る、悟る」という意味です。

●感謝する理由の「トーヴ」(טוֹב)はとても重要です。新改訳では「いつくしみ深い」、口語訳と新共同訳では「恵み深い」と訳されますが、英語はgoodと訳されます。主は良い方であり、良いものしか私たちに与えられない方であるという意味です。主は良いものを与えることを喜びとされる方ですから、霊的な源泉である主を知ることが何よりも重要です。

4. 定型句 ③

●ダビデは羊飼いでした。ですから「主は私の羊飼い。私は乏しいことがありません」と告白しています。ヘブル語では以下になります。

エフサール	ロー	ローイー	アドナイ
יְהוָה רֹעִי לֹא אֶחְסָר׃			
私は乏しいことが	ない	私の羊飼い	主は

●結語は、「まことに　私のいのちの日の限り　いつくしみと恵みが
私を追って来るでしょう。私はいつまでも主の家に住まいます。」

ここにも「いつくしみ」(トーヴ：טוֹב)と「恵み」(ヘセド：חֶסֶד)があります。これだけで十分すぎるほどなのです。このダビデがメシア王国ではイスラエルの君主としてよみがえるのです(エゼキエル38:25)。

今日のまとめ

主に感謝せよ。主はまことにいつくしみ深い。
その恵みはとこしえまで。

ハスドー	レオーラーム	キー	トーヴ	キー	ラドナイ	ホードゥー
חַסְדּוֹ:	לְעוֹלָם	כִּי	כִּי־טוֹב		לַיהוָה	הוֹדוּ
その恵みは	とこしえまで	まことに	まことにいつくしみ深い		主	に	感謝せよ

●私たちがやがて行くべきところは、いつくしみと恵みに満ち溢れる「永遠に身の落ち着き所」(メヌーハー：מְנוּחָה)です。